

(様式第4号)

第2回上田市武石地域総合センター整備検討委員会 会議概要

1 審議会名	上田市武石地域総合センター整備検討委員会
2 日時	平成29年6月27日 午前9時00分から午前11時10分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、北澤良子副会長、市川隆委員、井出守雄委員、伊藤定衛委員 柿蔭宣江委員、児玉卓文委員、児玉将男委員、小林明美委員、藤川まゆみ委員
5 市側出席者	木藤武石地域自治センター長、依田センター次長、下村市民サービス課長、滝沢産業建設課長、清住武石地域教育事務所長、竹花丸子建設課長、加々井政策企画担当係長、坂部地域政策担当係長、金子庶務担当係長、小林建築担当主査、桜井建築担当主査、掛川庶務担当主任
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成29年6月30日

協 議 事 項 等

1 開会(依田センター次長)
2 検討・協議事項
(1) 建設の位置について
・別冊資料説明(依田センター次長)
(会長)質問、意見がなければ、建設の位置は武石公民館コミュニティホールに接続し公民館跡地とすることによいか。
～ 特段、質問・意見なし ～
(会長)位置については公民館跡地とする。
(2) 各施設の現状と課題について
・配布資料「各施設機能の現状と課題について」説明(依田センター次長)
[質疑・意見]
(委員)武石公民館に上田市無形文化財に指定されている御柱大祭おねり保存会の衣装・道具を収納する部屋はこれまで同様に作ってもらいたい。
(事務局)武石公民館の現状と課題に追加する。
(委員)必要な機能に「自然エネルギー消費性能基準に適合する設備、構造」とあるが、具体的に何か考えているか。今の基準に合わせたものでは、数年後には時代遅れになるので、先進的なものを取り入れた方がよい。また、ライフサイクルコスト(生涯費用)について書かれているが、いちばんかかるのはランニングコストである。これをどう減らすかを考える必要がある。初期投資が多少かかってランニングコストがかからない方法を検討してもらいたい。
(3) 建設の基本方針について
・配布資料「武石地域総合センター建設の基本方針(案)」説明(依田センター次長)
[質疑・意見]
(委員)できるだけ木材を使ってもらいたいと思うが、建築の専門家から何かアドバイスがあればお願いしたい。
(委員)木材を使用するとコストが高くなる。コストの問題があるが、プランによっては地元の木材を

使うこともできるのではないか。

(委員) 武石地域は約7割が山林である。ぜひ武石産の木材を使ってもらいたい。武石健康センターの調理室は、市民活動のための営業許可に対応しているが、総合センターではどうなるのか。老人福祉センターは、鍵さえあけてもらえれば広くて自由に使えて非常に利用しやすい。武石地域では風呂は使えないが、丸子、真田、上田地域の高齢者福祉施設は風呂があり、週何回も利用している人がいる。総合センターに風呂は作ってもらえるのか。老人福祉センターには、木工教室専用の部屋があり、棚や道具、薬品などが置かれているが、総合センターではどうなるのか。また、農業者や若い人たちが自由に来て話ができる部屋、土足のままで会議ができる部屋を設けてほしい。施設を利用している各種団体との協議はするのか。

(事務局) 調理室は、営業許可対応のものを考えている。風呂については、武石地域にはすぐ近くに日帰り温泉施設がある。総合センターに風呂を造らない場合は、高齢者に対し別のサービスを考える必要がある。木工教室については、他地域でも陶芸教室で別建物を設けているケースがあるので、別建物を設けることも可能である。利用する方の利便性を図る必要があるので、住民説明会も行った際にぜひ意見を述べていただきたい。世代を超えて交流できる施設を目指しているが、財源に限りがあることもご理解いただきたい。

(委員) 武石地域には以前温泉利用補助券があったが、補助券が復活すると考えてよいか。木工教室は、今回の改築に併せてぜひ検討してもらいたい。また、老人福祉センターにある庭木や碑等はどうするのか。

(事務局) 高齢者施設の浴室については、他地域との差をなくさないといけないので、今後の検討とする。木工教室については、改築に併せて検討していく。庭木等は、それぞれに思い入れもあるので総合センター周辺の緑化などに活かせるようにしたい。

(委員) 健康センターの調理室はまだ新しいと思うが、一部別棟として残すことはできないのか。

(事務局) 施設を集約することが前提になっているのでできない。

(委員) 事業費は10億円で、面積は今までの約半分。このことを頭に入れておかないと、あれもこれもといってもまとまらないと思う。

(委員) 「雨水、地下水の有効活用」とあるが、具体的にどう活用するのか。また、「市民ニーズ、行政需要の変化に対応できる施設」とはどんな施設のことか。

(事務局) 雨水、地下水は災害発生時等のトイレ用の水として使用する。真田地域自治センターでは地下水を利用した熱交換システムが入っている。また、変化に対応できる施設とは、会議の規模等によって会議室を仕切れるよう考えている。

(委員) 長野市役所はトイレに地下水を使っており、下水道の節約になっていると聞いた。また、地中熱の利用も寒冷地に適しており、補助金もあるので検討したらどうか。ライフサイクルコストはわかりにくい表現なので、ランニングコストに変えた方がよいと思う。

(会長) 資料にただいまの意見を盛り込んだものを検討してほしい。

#### (4) 武石地域総合センターの機能、規模について

・配布資料「武石地域総合センターの機能(案)」説明(依田センター次長)

[質疑・意見]

(委員) 「省エネルギー化のための照明や冷暖房設備等の設置」とあるが、それだけに限らず施設全体の構造や機能にも取り入れた方がよい。

(委員)「地域の景観に適合する色や外観、外構、植栽」とあるが、限定して書かない方がよいのではないか。希望としては木材使用も入れてもらいたい。

(委員) 飲食スペースを設置するようだが、スペースはどの程度考えているのか。

(事務局) 湯茶を飲んだりして住民がくつろげるスペースを考えており、食事や喫茶のようなものは考えていない。住民から要望があれば検討していきたい。

(委員) この周辺に飲食店や店舗、直売所等で不便に感じていることはないのか。

(委員) 周辺には店がなく、買い物ができないという意見が多い。駐車場スペースに商業施設ができればよいと思う。

(事務局) 店舗については、武石地域の課題である。住民の発想によるものであれば、駐車場等を商業スペースとして利用することは考えられる。

(会長) 資料にただいまの意見を盛り込んだものにするよう検討してほしい。

・配布資料「武石地域総合センターの規模(案)」説明(依田センター次長)

[ 質疑・意見 ]

(委員) 施設面積は約半分になり、会議室も2つになってしまうと会議を行うのもかなり難しくなるのではないか。コミュニティホールを区切って会議ができるように改修することは可能か。

(事務局) コミュニティホールの他に、多目的ホールの設置を考えており、そこは3つに区切れるよう考えている。また、絨毯の指導室も2つに区切り、空いていれば会議に利用できる。

(委員) 上田市中心公民館も会議室が空いていないときがあり、調理室や美術室を使ったことがある。打合せならホワイエでもできる。

(委員) 施設の規模「その他(市長室、応接室等 116㎡)」は大きい気がするが、部屋は増えるのか。

(事務局) その他には、市長室、応接室の他休憩室や健康センターの付帯部分が含まれている。

(委員) 和室がないようだが、必要ないのか。

(事務局) 絨毯の部屋を設ける予定であり、代用できると考えている。要望があれば、和室も検討していきたい。

(委員) 事務室は非常に窮屈になるだろう。役職に限らず机は全て同じ大きさという企業の話聞いたことがあり、合理性を考えていく必要があると思う。

(委員) 川西地域自治センターと職員数が全く違うが、なぜ川西地域と比較したのか。

(事務局) 人口規模により比較をした。

(委員) 面積はこれより減ることはないか。

(事務局) 財源か面積で頭打ちにある。

(委員) 2階建てにしてエレベーターを設置するより平屋にした方がよいのではないか。平屋にした場合、公民館敷地に収まるのか。

(事務局) 平屋にしても面積は収まるが、平屋の方がコストはかかる。

(委員) トイレの面積が少ない気がするが、大きなイベント時に足りるのか。

(事務局) 資料に示したものは、面積を概算するために川西地域自治センターを参考にしたもので、詳細についてはこれから検討していく。

(委員) 施設面積は半分になり、廃棄するものも多いと思われるが、どう処分するのか。

(事務局) その点についてはまだ白紙の状態だが、使えるものは使っていく。

(委員) 廃棄するものも売却や譲渡など、有効利用を考えてもらいたい。

(委員) 財源に持寄り基金を使うのか。

(事務局) 武石特有の施設や設備を追加する場合には使う場合も考えられるが、具体的には決まっていない。

(委員) 武石地域にとって非常に重要な施設である。持寄り基金も使って、よりよい施設を造ってほしい。

#### (5) 駐車場の配置について

・配布資料「駐車場の配置について」説明(依田センター次長)

[質疑・意見]

(会長) 道路や水路の付け替えについては、別事業になるとのことなので、この委員会では現敷地の中で考えていただきたい。

(委員) 土地の交換等が可能なら、できるだけ飛び地にならないように検討してもらいたい。夏祭り等のイベント会場になる広さは必要である。

(委員) 自転車利用を促進はできるか。利用はどのくらいあるか。

(委員) ほとんど車を利用しており、自転車利用は中・高校生までではないか。山間部で坂道が多いので、利用が困難である。

(委員) 建物が公民館敷地いっぱいになったとしても、長い計画の中で道路等の線形が変更になる可能性があるとするなら、平屋建てにした方がよい。

(委員) 当分の間は道路を挟んだ駐車場でもよいのではないか。

(会長) この考え方で検討を進めていく方向性とする。

#### (6) 事業計画の検討について

・配布資料「事業計画の検討について」説明(依田センター次長)

[質疑・意見]

(委員) 財源に補助金とあるが、どのような補助金か。

(事務局) 木材利用やエネルギー利用に対する補助金を考えている。

(委員) 起債の中で面積に関して縛りはあるのか。

(事務局) 面積に関する縛りはない。

(委員) 工事の実施時間に関して、保育園が隣接しているので園児の心身へ影響が出ないように、配慮してもらいたい。

(事務局) 充分配慮した計画で行う。

(会長) 事業計画については説明のとおりとする。

#### (7) その他

(事務局) 第3回武石地域総合センター整備検討委員会について、7月11日(火)午前9時からお願いしたい。

#### 9 閉会(依田センター次長)